

# 決算報告 2017年度

※文中および図表の記載金額は、百万円未満を切捨処理しているため、合計及び差異等が一致しない場合があります。

## ■2017年度資金収支の内訳

「資金収支計算書」は、

- ① 1年間の諸活動のすべての収入と支出の内容
- ② 支払資金のてん末

これらを明らかにすることを目的とし、「学校法人会計基準」において作成が義務付けられています。

図表1 2017年度 資金収支決算内容

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
(1) 学生生徒等納付金収入	7,184	(1) 人件費支出	3,962
(2) 手数料収入	510	(2) 教育研究経費支出	1,752
(3) 寄付金収入	89	(3) 管理経費支出	574
(4) 補助金収入	290	(4) 借入金等利息支出	0
(5) 資産売却収入	601	(5) 借入金等返済支出	0
(6) 付随事業・収益事業収入	35	(6) 施設関係支出	305
(7) 受取利息・配当金収入	61	(7) 設備関係支出	86
(8) 雑収入	135	(8) 資産運用支出	2,462
(9) 借入金等収入	0	(9) その他の支出	359
(10) 前受金収入	1,574	—	—
(11) その他の収入	508	—	—
(12) 資金収入調整勘定	△ 1,729	(10) 資金支出調整勘定	△ 241
(13) 前年度繰越支払資金	6,200	(11) 翌年度繰越支払資金	6,201
収入の部合計	15,463	支出の部合計	15,463

## ◆内容説明(収入の部)

- (1) 学生生徒等納付金収入は、授業料などの収入です。  
在学学生数：学部 7,786名、大学院 150名(2017年5月1日現在)
- (2) 手数料収入は、大部分が入学検定料の収入です。  
2018年度入試入学志願者数：21,929名(大学院・編入学を除く)  
前年度(20,153人)から1,776名増となりました。
- (3) 寄付金収入は「教育振興募金」によるものです。  
在学生の御父母、同窓生、企業などから寄付をいただきました。
- (4) 補助金収入は、国・地方公共団体などからの補助金の収入です。私立大学等経常費補助金の額が、交付された全国573大学のなかで238位でした。
- (5) 資産売却収入は、有価証券の償還による収入などです。
- (6) 付随事業・収益事業収入は、学生寮の家賃および企業からの受託研究による収入が主です。
- (7) 受取利息・配当金収入は、預金・債券の受取利息や奨学基金運用収入によるものです。
- (8) 雑収入は、施設設備利用料収入や、私立大学退職金財団からの交付金等です。
- (9) 借入金等収入は、借入金を利用した場合の収入です。
- (10) 前受金収入は、新入生が入学手続きで納めた学費、在学生が納めた翌年度の学費などのことです。
- (11) その他の収入は、退職給与引当金を取崩したことによる収入や、2016年度未収金の回収分などのことです。
- (12) 資金収入調整勘定は、年度間の調整項目です。
- (13) 前年度繰越支払資金は、2016年度から繰り越されたものです。

## ◆内容説明(支出の部)

- (1) 人件費支出は、教職員の給与・一時金などの合計額です。
- (2) 教育研究経費支出は、教育研究のために支出した経費です。
- (3) 管理経費支出は、教育研究以外で支出した経費です。学生募集のための経費などもここに含まれます。
- (4) 借入金等利息支出は借入金を利用した場合の返済に係る利息の支払いです。
- (5) 借入金等返済支出は借入金の返済に係る支出です。

- (6) 施設関係支出は、建物や建物に付属する設備に係る支出です。  
土地取得やE館空調設備の更新などを行いました。
- (7) 設備関係支出は、教育研究用機器備品や管理用機器備品、図書などの購入費です。
- (8) 資産運用支出は、各引当特定資産への積立です。
- (9) その他の支出は、2016年度に未払いとなった費用の支払や貸付金支払などです。
- (10) 資金支出調整勘定は、年度間の調整項目です。
- (11) 翌年度繰越支払資金は、2018年度へ繰り越されるものです。

## ■2017年度事業活動収支の内訳

「事業活動収支計算書」は、

- ① 1年間の教育活動、教育活動以外の経常的な活動、その他特別な活動の3つの区分に集計される事業活動の収入と支出
- ② 基本金組入後の収支均衡の状態

これらを明らかにすることを目的としています。

図表2 2017年度 事業活動収支決算内容

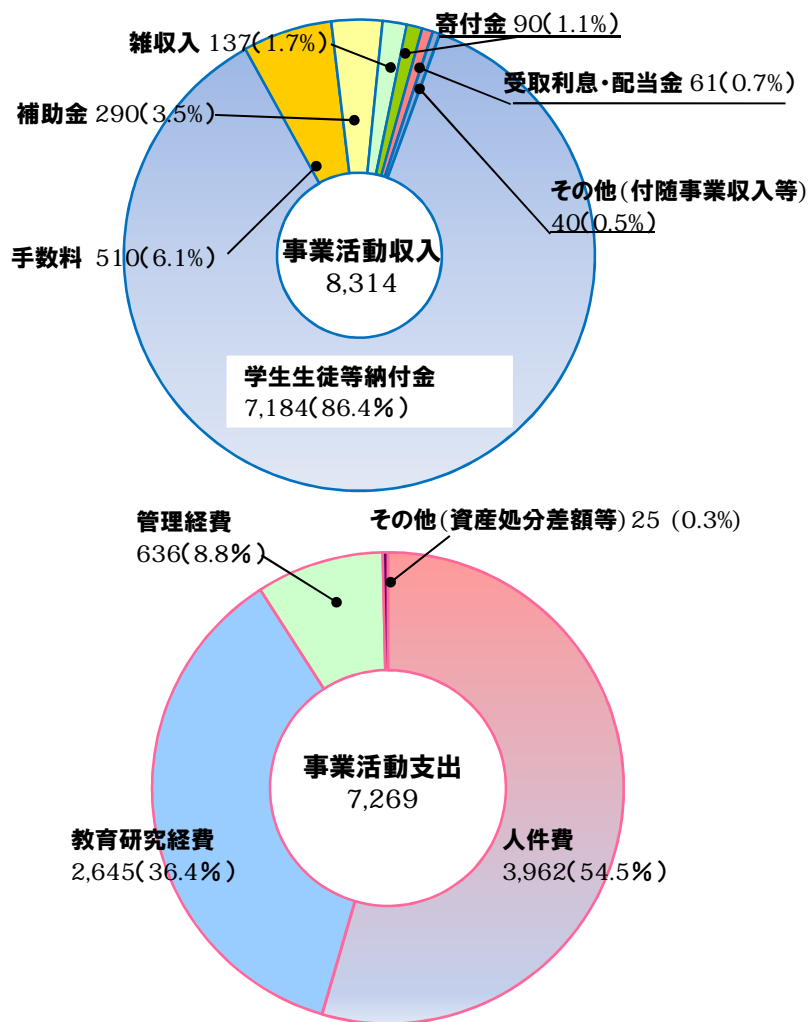
事業活動収入の部		事業活動収入の部			
(1) 教育活動収支	学生生徒等納付金	7,184	(4) 特別収支	資産売却差額	1
	手数料	510		その他の特別収入	4
	寄付金	90		特別収入計	5
	経常費等補助金	290		事業活動支出の部	
	付随事業収入	35		資産処分差額	25
	雑収入	137	その他の特別支出	0	
	教育活動収入計	8,247	特別支出計	25	
	事業活動支出の部		特別収支差額		△ 20
	人件費	3,962	基本金組入前当年度収支差額		1,045
	教育研究経費	2,645	基本金組入額合計		△ 263
管理経費	636	(5) 当年度収支差額		781	
徴収不能額等	0	前年度繰越収支差額		△ 1,152	
教育活動支出計	7,243	基本金取崩額		0	
教育活動収支差額	1,003	翌年度繰越収支差額		△ 370	
(2) 教育活動外収支	事業活動収入の部		(参考)		
	受取利息・配当金	61	事業活動収入計	8,314	
	その他の教育活動外収入	0	事業活動支出計	7,269	
	教育活動外収入計	61			
	事業活動支出の部				
借入金等利息	0				
その他の教育活動外支出	0				
教育活動外支出計	0				
教育活動外収支差額	61				
(3) 経常収支差額		1,065			

## ◆内容説明

- (1) 教育活動収支は、経常的な収支のうち、学校法人の本業である教育研究事業の収支です。
- (2) 教育活動外収支は、経常的な収支のうち、主に財務活動の収支です。
- (3) 経常収支差額は、「教育活動収支」と「教育活動外収支」を合計したものです。
- (4) 特別収支は、特殊な要因によって一時的に発生した臨時的な収支を表します。
- (5) 当年度収支差額は、「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」の合計から、基本金組入額を差し引いたものです。

※文中および図表の記載金額は、百万円未満を切捨処理しているため、合計及び差異等が一致しない場合があります。

図表3 2017年度 事業活動収入・支出の構成内容



■2017年度貸借対照表の内訳

貸借対照表は、当該年度末時点の、学校法人の財政状態を表します。

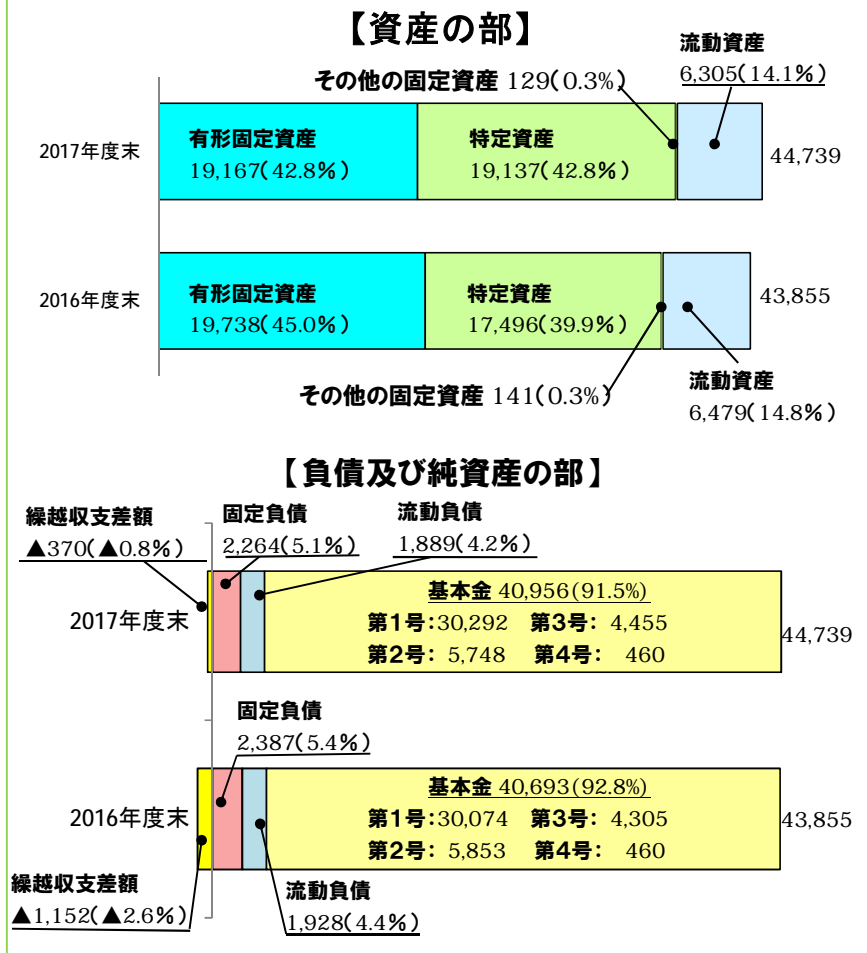
図表4 2017年度 貸借対照表内容

科目	2017年度末	科目	2017年度末
資産の部		負債の部	
固定資産	38,433	(4) 固定負債	2,264
(1) 有形固定資産	19,167	(5) 流動負債	1,889
(2) 特定資産	19,137	負債の部 合計	4,154
(3) その他の固定資産	129	純資産の部	
流動資産	6,305	(6) 基本金	40,956
		繰越収支差額	△ 370
		純資産の部 合計	40,585
資産の部 合計	44,739	負債及び純資産の部 合計	44,739

◆内容説明

- 有形固定資産は、土地・建物・備品・図書などです。土地取得やE館空調設備の更新などを行いました。
- 特定資産は、用途が特定されている預金や有価証券のことです。大隅校地整備事業資金や大阪経済大学奨学基金への組入などを行いました。
- その他の固定資産は、電話加入権・ソフトウェア・有価証券・長期貸付金などです。
- 固定負債は、教職員の退職一時金の積立金・長期未払金です。
- 流動負債は、一年以内に支払を迎える未払金・前受金・預り金です。
- 基本金には、次のものがあります。
  - 第1号基本金（自己資金による施設などの取得額）
  - 第2号基本金（キャンパス整備計画に基づく先行組入額）
  - 第3号基本金（奨学基金の積立額）
  - 第4号基本金（必要な運転資金）

図表5 貸借対照表の構成内容



■主な財務比率など

本学の主な財務比率は次のとおりです。

図表6 主な財務比率

※帰属収支差額 = 帰属収入 - 消費支出

判定基準……△:高い値が良い、▼:低い値が良い、~:どちらともいえない

本学の評価……○:全国平均より評価が高い、×:全国平均より評価が低い、

~:どちらともいえない

項目	本学 H29 (%)	全国平均 H28 (%)	判定基準	本学の評価	摘要
人件費比率	47.7	53.6	▼	○	人件費の経常収入に対する割合、50%以下が目標。
教育研究経費比率	31.8	33.0	△	×	教育研究経費の経常収入に対する割合、30%以上が目標。
管理経費比率	7.7	9.0	▼	○	管理経費の経常収入に対する割合、8%以下が目標。
事業活動収支差額比率	12.6	4.9	△	○	基本金組入前当年度収支差額の事業活動収入に対する割合、10~20%が目標。
学生生徒等納付金比率	86.5	73.7	~	~	学生生徒等納付金の経常収入に対する割合。
積立率	107.3	78.9	△	○	将来の施設設備の取替更新等に備えて保有しておくべき資産の保有状況を表す比率。

(注) 全国平均H28は、日本私立学校振興・共済事業団の「平成29年度版 今日の私学財政 大学・短期大学編」における財務比率表（医歯系法人を除く）から抜粋しています。

- 本学は長期・短期ともに借入はなく「自己資金による経営」を続けています。
- 格付投資情報センター(R&I)による格付けでは、2017年9月26日に「A+」(シングルAプラス)、方向性は「安定的」という評価を得ています。

格付け符号…AAA~Dの9段階で評価。上位格に近いものに+（プラス）、下位格に近いものに-（マイナス）表示をつけることがある。  
格付けの方向性…「ポジティブ」、「ネガティブ」、「安定的」および「方向性未定」がある。

事業報告書ならびに財務諸表（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録概要）はホームページ（URL: www.osaka-ue.ac.jp）に掲載しております。